

教職課程

教員免許状の授与を受けるためには、文部科学大臣により認可された教員養成課程を有する大学等で所定の教科及び教職に関する科目の単位を修得することが必要です。つまり、教職に携わる者として必要な資質・能力を大学での学修を通して身につけ、それをもとに都道府県教育委員会が教員免許状を付与するものであることを理解したうえで本学の教職課程を履修してほしいと思います。本学教職課程では下記に記す熱意ある学生の履修を望みます。

- ◆教育及び地域に関心があり、教員になりたいと思っている人。
- ◆子どもと関わる仕事をしたいと考えている人。
- ◆多様な人々と積極的に関わりたいと考えている人。
- ◆自ら課題を見つけ、粘り強く解決していこうとする意欲のある人。
- ◆学修生活をする上で必要な基礎的な学力を身につけている人。

目次

スケジュール等（全学科・学年共通）	P136～139
中等・栄養	P140～147
初等（こども文化学科）	P148～149

※教職課程において「初等」とは小学校の、「中等」とは中学・高校の教員免許のことを指しています。



沖縄大学
Okinawa University

教職課程スケジュール

【入学から免許状取得まで】

教育職員免許状を取得する場合、卒業までの4年間、教科に関する専門科目以外に学部卒業単位に含まれない科目（教職科目）も含めて計画的に履修する必要があります。

また、教職科目を履修する他に、説明会やガイダンスに参加しなければなりません。次が卒業までの主なスケジュールです。（詳細はガイダンスにおいて説明します。）

＝教職課程スタート＝

1 年次	4 月	新入生オリエンテーション（初等・中等・栄養） 教職科目履修開始 前期～（初等・中等・栄養）
	3 月	在学生教職ガイダンス（新2・3・4年次対象）
2 年次	5 月	教職インターンシップ（配置校での実習）
	3 月	在学生教職ガイダンス（新2・3・4年次対象）
3 年次	6 月	介護等体験実習（12月にかけて） （福祉施設 5 日間、特別支援学校 2 日間）
	7 月	第一回次年度教育実習希望者ガイダンス 【教育実習希望申込】：7 月
	9 月	教育実習希望者選考（基礎学力試験・面接）
	10 月	第二回教育実習希望者ガイダンス（実習校訪問について）
	11 月	教育実習希望校へ訪問、内諾依頼
	2 月	教育実習希望者選考（模擬授業）
	3 月	教育実習履修者の決定
	3 月	在学生教職ガイダンス（新2・3・4年次対象）
4 年次	6～9 月	教育実習（高校 10 日間、中学校 15 日間、 小学校 20 日間、栄養 5 日間）
	11 月	教育職員免許状一括申請手続き
	3 月	教育職員免許状取得

＝大学4年間の教職課程修了！＝

1. 教員免許状の教科及び種類

教育職員免許法（表2 参照次ページ）に定められた教職科目を履修し、基礎資格（学士の学位等を得た者）に対して、本学では下記の種類の教員免許状が取得できます（表1 参照）。入学年度により一部取得できる免許状や、カリキュラムが異なりますので、ご注意ください。

表1 本学で取得できる教員免許状の教科と種類

学 科		教員免許状の種類	免許教科
経法商学科		中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史 公民
国際コミュニケーション学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語
福祉文化学科	健康スポーツ福祉専攻	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保健体育
こども文化学科		小学校教諭一種免許状	—
管理栄養学科		栄養教諭一種免許状	—

2. 教職介護等体験について（小学校一種免許状・中学校一種免許状取得希望者のみ）

1998年4月入学学生より、小学校と中学校の免許取得予定者については介護等体験を義務づける法令が施行されました。介護等体験は指定された教育委員会管轄の特別支援学校で2日間、社会福祉協議会管轄の社会福祉施設で5日間、合計7日間実施します。詳しくは「教職介護等体験」授業またはガイダンス時に説明します（体験費が別途必要となる科目です）。介護等体験予定者は、必ず4月の健康診断を受けてください。

また、介護等体験終了後に各施設より発行される「介護等体験証明書」は免許状申請に不可欠な重要書類ですので取扱いに注意してください。（原則再発行されません。）

3. 「教職実践演習」と履修カルテについて

教職実践演習は、教員になる上で自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、更なる向上を目指すことを目的とした4年次後期に履修する科目です。教職実践演習を履修するにあたって、免許状取得に必要な科目の履修を始めてから毎学期各自で履修カルテを作成します。自らの学習状況をきめ細かく把握するためのものです。履修カルテについての詳しい説明は「教職論」および教職ガイダンスで行います。

4. 登録及び手続きについて

中学校・高校・栄養教諭免許取得希望者が「教職に関する科目」を履修する場合、教職課程登録料（1単位1,000円※科目一覧を参照のこと）が必要です。教務課前の証明書発行機で所定の金額を納入した際に出力される登録用紙を教務課へ提出します（web登録ではありません）。掲示板（教職掲示板・教務課掲示板）や学内メールを確認し、見落としのないようにしてください。

（※）登録し忘れにくれぐれも注意してください。登録期間を過ぎてからの登録はいかなる理由があっても一切認めることはできません。科目登録後は、必ず各自で登録の確認を行ってください。

5. 登録の取り消しについて

登録調整期間を過ぎると本登録されるため、登録料はいかなる理由があっても返金されません。ただし、取消期間内の取消は可能です。

表2 参考・教育職員免許法等に定める免許状取得の要件

		小学校教諭 一種免許状	中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状	栄養教諭一種免許状
大学における 最低修得単位数	基礎資格	学士の学位を有すること (卒業することが条件)			学士の学位を有することかつ、管理 栄養士の免許を受けていること又は 管理栄養士養成施設の課程を修了し、 栄養士の免許を受けていること
	専門科目				
	教科及び教科の指導法に関する科目	30	28	24	—
	栄養に係る教育に関する科目	—	—	—	4
	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	10	8
	道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、教育相談 等に関する科目	10	10	8	6
	教育実践に関する科目	7	7	5	4
	大学が独自に設定する科目	2	4	12	0
合 計		59	59	59	22

※1 基礎資格

教育職員免許状の取得には、学士の学位を得ること（大学を卒業すること）が前提となります。
 栄養教諭の場合は、学士の学位を得ること（大学を卒業すること）かつ、管理栄養士の免許を受けていること
 又は管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていることが前提となります。

※2 教科に関する専門的事項

取得しようとする免許状の教科を教えるにあたり必要な知識を学ぶ科目です。免許状の種類や学部・学科、入学年度、取得をめざす免許状を確認し、設置科目一覧（P143～147）にもとづいて履修してください。

※3 各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等

教員として必要な専門知識について学ぶ科目です。一部を除いて卒業所要単位とは別に修得することになります（P141）。科目毎に登録料が必要です。

※4 大学が独自に設定する科目

以下の2つの履修方法があります。

- ①「教科及び教科の指導法に関する科目」・「教育の基礎的理解に関する科目」等の最低修得単位数を超えて修得した単位を「大学が独自に設定する科目」の単位としてみなすことができます。
- ②「大学が独自に設定する科目」に設置されている科目より修得します。「大学が独自に設定する科目」として数えられます。

※5 施行規則第66条の6に定める科目

免許を取得するには、「日本国憲法」2単位以上、「体育」2単位以上、「外国語コミュニケーション」2単位以上、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」2単位以上は必ず履修しなければなりません。各学部、各年次の年間履修制限単位数内で履修してください。修得した単位は卒業所要単位となります。

※6 表2に示した法定単位数と本学教職課程修得単位数の差異について

教育職員免許法等には、表2に示すように各免許状の最低修得単位数を定めています。各大学はこの最低条件を満たしつつ、それぞれの理念や事情に応じて学生が修得しなければならない単位数を定めることになっています。そのため、単位数に差異が生じます。

教育実習生の選考について

教育実習生としての派遣条件は、以下の要件をすべて満たしているうえで最終合否（3年次3月末）が決定されます。

1. 累計 GPA が 2.5 以上であること（3年次終了時点の累計）。
2. 所定の科目を3年次終了時まで単位修得済みであること。（※1）
3. 3年次後期に実施される基礎学力テスト、面接、模擬授業に合格すること。
4. 中高英語免許希望者は、英検2級以上取得すること。
5. 実習希望の申込みを3年次の所定期日までに終わっていること。（※2）
6. 本学の教育実習生としてふさわしい言動が身についていること。

（※1）

中学・高校	教職論、教職入門セミナー、教育の歴史と思想、発達と教育の心理学、教育制度論、教育方法論、教育課程論、各教科教育法・指導法（必修科目）
栄養	教職論、教職入門セミナー、教育の歴史と思想、発達と教育の心理学、教育制度論、教育方法論、教育課程論、栄養教諭論、食育実践論
小学校	教職論、教職入門セミナー、初等教育原理、教育心理学または発達心理学、教育制度論、教育方法論、教育課程論、教科に関する全10教科（教科に関する専門的事項 全11科目）、教科教育法全10教科のうち4教科

（※2）日程等の詳細は、3年次教職ガイダンスまたは掲示等で確認してください。

教育実習について

教育実習に関しては、3年次教職ガイダンスにおいて詳しく説明します。中学校免許状と高校免許状を併せて取得希望の学生は、中学校において教育実習を行います。沖縄県は原則として母校実習ですが、県外出身者や特別な理由がある場合等は本島内（教職インターンシップ先等）で調整します。また、必ず4月の健康診断を受けてください。

保険の加入及び諸費用について

下記の科目については、学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険の加入及び手数料や体験費が必要です。詳細はガイダンスにおいて説明します。（通常の修業年限を超えた在学生及び科目等履修生については、別途学研災保険1,000円の加入が必要です。）

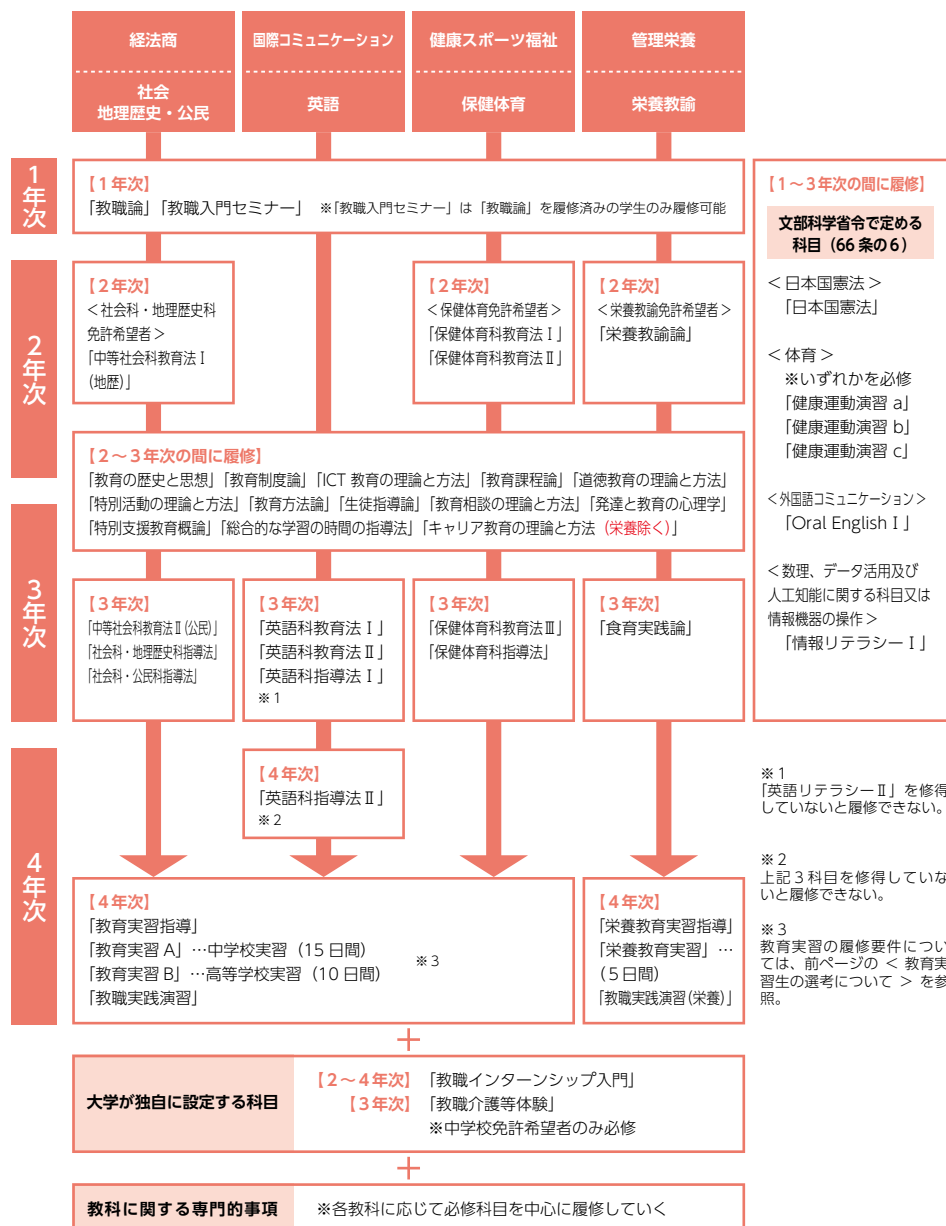
また、給食費等、その他費用が発生する場合があります。

科目名	実習費・体験費	保険料 ※
教職入門セミナー		210 円
教職インターンシップ入門・実践		
教職介護等体験	7,500 円	
教育実習（小学校）	5,000 円（手数料）	
教育実習 A（中学校）	9,000 円（手数料＋登録料 4,000 円）	
教育実習 B（高校）	7,000 円（手数料＋登録料 2,000 円）	—
栄養教育実習	6,000 円（手数料＋登録料 1,000 円）	

※管理栄養学科の学生は学費に含まれるため、あらためて支払う必要はありません。

※保険は年度ごとに加入し、当年度に1度のみです。同じ年度に複数の科目を履修する場合、また、340 円（Aコース）に加入する場合であっても加入手続きは1度のみです。

履修モデル：中学校・高校・栄養一種免許



※1
「英語リテラシーⅡ」を修得していないと履修できない。

※2
上記3科目を修得していないと履修できない。

※3
教育実習の履修要件については、前ページの<教育実習生の選考について>を参照。

注意) 取得希望免許によって履修科目が異なります。詳しくは各自該当するカリキュラム(別項)を参照してください。

教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等（中等・栄養） ※登録料 1 単位 1,000 円

免許法に定める教職に関する科目		本学規定による開設授業科目										
		授業科目	単位数	免許 教科	免許種による必修/選択			履修年次	担当者	時間割	備考	
					中学	高校	栄養					
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	各教科、別ページに定める										
		中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）	2	社会	必				2	糸 数 哲	木 4 後期	
		中等社会科教育法Ⅱ（公民）	2		必				3	伊 良 波 剛	火 6 前期	
		社会科・地理歴史科指導法	2		必				3	糸 数 哲	木 4 前期	
		社会科・公民科指導法	2		必				3	伊 良 波 剛	火 6 後期	
		中等社会科教育法Ⅱ（公民）	2	公民		必			3	伊 良 波 剛	火 6 前期	
		社会科・公民科指導法	2			必			3	伊 良 波 剛	火 6 後期	
		中等社会科教育法Ⅰ（地理歴史）	2	地理 歴史			必		2	糸 数 哲	木 4 後期	
		社会科・地理歴史科指導法	2				必		3	糸 数 哲	木 4 前期	
		英語科教育法Ⅰ	2	英語	必修				3	下 地 敏 洋	金 3 前期	
		英語科教育法Ⅱ	2						3	下 地 敏 洋	金 3 後期	
		英語科指導法Ⅰ	2						3	末 吉 綾 乃	水 2 後期	
		英語科指導法Ⅱ	2						4	末 吉 綾 乃	水 2 前期	
		保健体育科教育法Ⅰ	2	保健 体育	必	必			2	嘉 数 健 悟	金 4 前期	2022 年度入学生から 専門科目へ 移動
保健体育科教育法Ⅱ	2	必	選				2	平 良 亮	木 2 後期			
保健体育科教育法Ⅲ	2	必	選				3	嘉 数 健 悟	火 4 前期			
保健体育科指導法	2	必	必				3	嘉 数 健 悟	金 4 後期			
				栄養			一					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の歴史と思想	2	共通	必	必	必	2	照 屋 信 治	木 1 後期		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2		必	必	必	1	照 屋 信 治	木 1 前期		
	教職入門セミナー	教職入門セミナー	2		必	必	選	1	照 屋 信 治	木 5 後期	栄養は 2024 年度以前入学生は必修	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2		必	必	必	2・3	照 屋 信 治	火 2 後期		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達と教育の心理学	2		必	必	必	2・3	吉川麻衣子	木 5 前期	2024 年度入学生から福祉文化学科専門科目へ移動	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2		必	必	必	2・3・4	松 尾 理 沙	月 1 後期		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		必	必	必	2	宮 島 基	火 5 前期		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2		共通	必		必	3	上 江 洲 毅	金 2 前期	
総合的な学習（探究）の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	必		必	3	狩 俣 直 美	火 5 後期			
特別活動の指導法	特別活動の理論と方法	2	必	必		必	2・3	比 嘉 俊 博	水 6 後期			
教育の方法及び技術	教育方法論	1	必	必		必	2	安 藤 和 久	月 1 後期			
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT 教育の理論と方法	1	※必	※必		※必	2	天野裕子・他	木 3 前期	前半・後半 2 クラス		
生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	2	必	必		必	2・3	仲 盛 康 治	月 6 後期			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	キャリア教育の理論と方法	2	必	必			3・4	仲 盛 康 治	月 6 前期			
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2	必			必	2・3	吉川麻衣子	木 5 後期			
教育実践に関する科目	教育実習 A	4	中高	必				4	照 屋 信 治	-	別途 手数料等	
	教育実習	教育実習 B		2		必			4	照 屋 信 治	-	別途 手数料等
	教育実習指導	教育実習指導	2	栄養	必	必			4	照 屋 信 治	金 3 通年	
	栄養教育実習	栄養教育実習	1				必		4	喜 屋 武 ゆりか	-	別途 手数料等
	栄養教育実習指導	栄養教育実習指導	1				必		4	喜 屋 武 ゆりか	木 3 通年	
	教職実践演習	教職実践演習	2		中高	必	必			4	照 屋 信 治	火 4 後期
教職実践演習（栄養）	教職実践演習（栄養）	2	栄養			必		4	佐和田恭代	木 4 後期		
大学が独自に設定する科目		教職介護等体験	2	中高	必	選			3	糸 数 哲・他	木 6 通年	登録料なし 別途 体験費等
		教職インターンシップ入門	2		必	必			2	糸 数 哲	水 1 通年	登録料なし
		教職インターンシップ実践	2			選			3・4	照 屋 信 治	水 1 通年	別途 保険料
		道徳教育の理論と方法	2				選		3	上 江 洲 毅	金 2 前期	

※ 2023 年度以降に教育方法論を履修する学生は必修。2022 年度までに教育方法論を履修済みの学生は履修の必要はない。

※時間割については各所属学科設置科目を参照すること。

免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許を取得するには、「日本国憲法」 2 単位以上、「体育」 2 単位以上、「外国語コミュニケーション」 2 単位以上、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」 2 単位以上は必ず履修しなければなりません。各学部、各年次の年間履修制限単位数内で履修してください。修得した単位は卒業所要単位となります。

全学年共通

免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目＜中等（経法商学部・人文学部・健康栄養学部）共通＞

免許法による 科目区分	本学における開設授業科目					備考
	科目名	単位数	必修 / 選択 区分	履修年次	必要修得 単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2	必	1・2・3・4	2 単位	
外国語 コミュニケーション	Oral English I	2	必	1	2 単位	
体 育	健康運動演習 a	2	選必	1・2・3・4	2 単位	
	健康運動演習 b	2				
	健康運動演習 c	2				
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	情報リテラシー I	2	必	1	2 単位	
必要修得単位数					8 単位以上	

※時間割については各所属学科設置科目を参照すること。

＜中学社会＞経法商学科用

教科に関する専門的事項

免許法による科目区分	本学における開設授業科目						備考	
	授業科目	単位数	必修 / 選択区分			履修年次		必要修得 単位数
			2025 年度 以降入学生	2023 年度・ 2024 年度 入学生	2022 年度 以前入学生			
日本史・外国史	日本の歴史Ⅰ	2	必			1・2・3・4	6 単位以上	
	日本の歴史Ⅱ	2	選			1・2・3・4		
	西洋史Ⅰ	2	必			2・3・4		
	西洋史Ⅱ	2	選			2・3・4		
	東洋史Ⅰ	2	必			2・3・4		
	東洋史Ⅱ	2	選			2・3・4		
	沖縄の歴史Ⅰ	2		選		1・2・3・4		2024 年度以前入学生適用
	沖縄の歴史Ⅱ	2		選		1・2・3・4		//
	琉球・沖縄史Ⅰ	2	選			2・3・4		2025 年度以降入学生適用
	琉球・沖縄史Ⅱ	2	選			2・3・4		//
	法史学Ⅰ	2	選			2・3・4		
	法史学Ⅱ	2	選			2・3・4		
地理学（地誌を含む。）	地理学	2	必			2・3・4	4 単位以上	
	地誌Ⅰ	2	必			2・3・4		
	地誌Ⅱ	2	選			2・3・4		
	人文地理学Ⅰ	2	選			2・3・4		
	人文地理学Ⅱ	2	選			2・3・4		
	自然地理学Ⅰ	2	選			2・3・4		
	自然地理学Ⅱ	2	選			2・3・4		
「法学、政治学」	法学概論	2	必			1	4 単位以上	
	政治学Ⅰ	2	必			2・3・4		旧：政治学原論Ⅰ
	政治学Ⅱ	2	選			2・3・4		旧：政治学原論Ⅱ
	行政法Ⅰ	2	選			2・3・4		
	行政法Ⅱ	2	選			2・3・4		
	国際関係法Ⅰ	2	選			2・3・4		
	国際関係法Ⅱ	2	選			2・3・4		
	国際政治学Ⅰ	2	選			2・3・4		
	国際政治学Ⅱ	2	選			2・3・4		
「社会学、経済学」	社会学	2	選			2・3・4	4 単位以上	
	経済学入門Ⅰ	2	必			1		
	経済学入門Ⅱ	2	必			1		
	経済学Ⅰ	2			必	2・3・4		
	経済学Ⅱ	2			必	2・3・4		
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学	2	必			2・3・4	4 単位	福祉文化学科提供科目
	倫理学	2	必			2・3・4		
必要修得単位数							22 単位以上	

※時間割については各所属学科設置科目を参照すること。

<高校公民> 経法商学科用

教科に関する専門的事項

免許法による 科目区分	本学における開設授業科目						備考	
	授業科目	単位数	必修 / 選択区分		履修年次	必要修得 単位数		
			2023 年度 以降入学生	2022 年度 入学生				
「法学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）」	法学概論	2		必	1	2022 年度 入学生 8 単位以上		
	行政法Ⅰ	2		選	2・3・4			
	行政法Ⅱ	2		選	2・3・4			
	憲法・人権論	2		選	2・3・4			
	憲法・統治機構論	2		選	2・3・4			
	行政学	2		選	2・3・4			
	会社法Ⅰ	2		選	2・3・4			
	会社法Ⅱ	2		選	2・3・4			
	政治学Ⅰ	2		必	2・3・4	2023 年度 以降入学生 4 単位以上	旧：政治学原論Ⅰ	
	政治学Ⅱ	2	選	必	2・3・4		旧：政治学原論Ⅱ	
	国際関係法Ⅰ	2		選	2・3・4			
	国際関係法Ⅱ	2		選	2・3・4			
	国際政治学Ⅰ	2	選	必	2・3・4			
	国際政治学Ⅱ	2		選	2・3・4			
「社会学、経済学（国際 経済を含む。）」	地方自治法	2		選	2・3・4			
	地方自治論	2		選	2・3・4			
	社会学	2		選	2・3・4	6 単位以上		
	経済学入門Ⅰ	2		必	1			
	経済学入門Ⅱ	2		必	1			
	経済学Ⅰ	2		必	2・3・4			
	経済学Ⅱ	2		必	2・3・4			
	国際経済学Ⅰ	2		必	2・3・4			
	国際経済学Ⅱ	2		選	2・3・4			
	金融論	2		選	2・3・4			
	労働経済学	2		選	2・3・4			
	計量経済学	2		選	2・3・4			
	「哲学、倫理学、宗教学、 心理学」	哲学	2		必	2・3・4	4 単位	福祉文化学科提供科目
		倫理学	2		必	2・3・4		
必要修得単位数					22 単位以上	必修科目以外に選択科目を含めて 22 単位以上になるように履修		

<高校地理歴史> 経法商学科用

教科に関する専門的事項

免許法による 科目区分	本学における開設授業科目						備考	
	授業科目	単位数	必修 / 選択区分			履修年次		必要修得 単位数
			2025 年度 以降入学生	2023 年度・ 2024 年度入学生	2022 年度 以前入学生			
日本史	日本の歴史Ⅰ	2		必		1・2・3・4	6 単位以上	
	日本の歴史Ⅱ	2		必		1・2・3・4		
	沖縄の歴史Ⅰ	2		必		1・2・3・4		
	沖縄の歴史Ⅱ	2		選		1・2・3・4		
	琉球・沖縄史Ⅰ	2	必			2・3・4		
	琉球・沖縄史Ⅱ	2	選			2・3・4		
	沖縄近現代史論Ⅰ	2		選		2・3・4		
	沖縄近現代史論Ⅱ	2		選		2・3・4		
	法史学Ⅰ	2		選		2・3・4		
	法史学Ⅱ	2		選		2・3・4		
外国史	西洋史Ⅰ	2		必		2・3・4	2022 年度以前入 学生 8 単位以上	
	西洋史Ⅱ	2		選	必	2・3・4		
	東洋史Ⅰ	2		必		2・3・4		
	東洋史Ⅱ	2		選	必	2・3・4		
	中琉交流史Ⅰ	2		選		2・3・4		2023 年度以降入 学生 4 単位以上
	中琉交流史Ⅱ	2		選		2・3・4		
人文地理学・自然地理学	地理学	2		必		2・3・4	6 単位以上	
	人文地理学Ⅰ	2		必		2・3・4		
	人文地理学Ⅱ	2		選		2・3・4		
	自然地理学Ⅰ	2		必		2・3・4		
	自然地理学Ⅱ	2		選		2・3・4		
地誌	地誌Ⅰ	2		必		2・3・4	4 単位	
	地誌Ⅱ	2		必		2・3・4		
必要修得単位数						2022 年度以前入学生 24 単位以上 2023 年度以降入学生 22 単位以上	2023 年度以降入学生は、 必修科目以外に選択科目 を含めて 22 単位以上にな るように履修	

※時間割については各所属学科設置科目を参照すること。

<中・高英語> 国際コミュニケーション学科用

教科に関する専門的事項

免許法による 科目区分	本学における開設授業科目				履修年次	必要修得 単位数	備考
	授業科目	単位数	必修 / 選択区分				
			2023年度 以降入学生	2022年度 以前入学生			
英語学	英語習得法	2	必		1・2	10 単位	
	英語学概論Ⅰ	2	必		2・3・4		
	英語学概論Ⅱ	2	必		2・3・4		
	英語音声学Ⅰ	2	必		2・3・4		
	英語音声学Ⅱ	2	必		2・3・4		
英語文学	英語文学概論Ⅰ	2	必		3・4	4 単位	
	英語文学概論Ⅱ	2	必		3・4		
英語コミュニケーション	Project English	2	必		3・4	8 単位	旧 : Advanced English Skills
	Integrated English Skills	2	必		3・4		
	英語表現法Ⅰ	2	必		2・3・4		
	英語表現法Ⅱ	2	必		2・3・4		
異文化理解	異文化理解	2	必		1・2	2022年度以前入学生 4単位	
	国際交流論	2		必	2	2023年度以降入学生 2単位	
必要修得単位数						2022年度以前 入学生 26 単位 2023年度以降 入学生 24 単位	

栄養に係る教育に関する科目<栄養教諭> 管理栄養学科用

免許法による 科目区分	本学における開設授業科目					備考
	授業科目	単位数	必修 / 選択 区分	履修年次	必要修得 単位数	
栄養教諭の役割 及び教務内容に関する事項 幼児、児童及び生徒の栄養に係る 課題に関する事項 食生活に関する歴史的 及び文化的事項	栄養教諭論	2	必	2	4 単位	
食に関する指導の方法に 関する事項	食育実践論	2	必	3		
必要修得単位数					4 単位	

※時間割については各所属学科設置科目を参照すること。

<中・高保健体育> 福祉文化学科（健康スポーツ福祉専攻）

教科に関する専門的事項

免許法による科目区分	本学における開設授業科目					備考
	授業科目	単位数	必修 / 選択区分	履修年次	必要修得単位数	
体育実技	健康スポーツ演習（体づくり・器械運動）	2	必	1	20 単位以上	
	健康スポーツ演習（陸上競技）	2	必	1		
	健康スポーツ演習（水泳）	2	必	1		
	健康スポーツ演習（ゴール型）	2	必	2		
	健康スポーツ演習（ネット型）	2	必	3		
	健康スポーツ演習（ベースボール型）	2	必	3		
	健康スポーツ演習（柔道）	2	必	3		
	健康スポーツ演習（空手）	2	必	3		
	健康スポーツ演習（ダンス）	2	必	3		
	野外活動実習 A（マリンスポーツ）	2	選必	2		1 科目選択必修
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	野外活動実習 B（ウィンタースポーツ）	2	選必	2	4 単位以上	
	運動文化論	2	選必	1		1 科目選択必修
	スポーツ心理学	2	選必	2		
	スポーツ社会学	2	選必	3		
	スポーツ経営論	2	選必	3		
	スポーツコーチング論	2	必	2		
	障がい者スポーツ指導演習	2	選	2		
生理学（運動生理学を含む。）	障がい者スポーツ指導論	2	選	2	2 単位以上	
	スポーツ生理学	2	必	2		
	老年学	2	選	2		
	バイオメカニクス	2	選	2		
衛生学・公衆衛生学	スポーツ栄養学	2	選	3	2 単位	
	衛生・公衆衛生学	2	必	3		
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健	2	必	3	4 単位	
	臨床スポーツ医学	2	必	2		
必要修得単位数					32 単位以上	

※ 2021 年度以前入学生は、ヘルスリテラシー入門を履修する必要があります。

2026 年度 教職に関する科目 時間割 <中等・栄養>

* 印は中等のみ

		月	火	水	木	金	土
1	前期			*教職インターンシップ 入門・実践	教職論		
	後期	特別支援教育概論 教育方法論		*教職インターンシップ 入門・実践	教育の歴史と思想		
2	前期			*教職インターンシップ 入門・実践 *英語科指導法Ⅱ		道徳教育の理論と方法	
	後期		教育制度論	*教職インターンシップ 入門・実践 *英語科指導法Ⅰ	*保健体育科教育法Ⅱ		
3	前期				ICT 教育の理論と方法 栄養教育実習指導	*英語科教育法Ⅰ *教育実習指導	
	後期				栄養教育実習指導	*英語科教育法Ⅱ *教育実習指導	
4	前期		*保健体育科教育法Ⅲ		*社会科・地理歴史科 指導法	*保健体育科教育法Ⅰ	
	後期				*中等社会科教育法Ⅰ (地理歴史) 教職実践演習 (栄養)	*教職実践演習 (中等) *保健体育科指導法	
5	前期		教育課程論		発達と教育の心理学 ※		
	後期		総合的な学習の時間 の指導法		教職入門セミナー 教育相談の理論と方法		
6	前期	*キャリア教育の 理論と方法	*中等社会科教育法Ⅱ (公民)		*教職介護等体験		
	後期	生徒指導論	*社会科・公民科 指導法	特別活動の理論と方法	*教職介護等体験		
7	前期						
	後期						

※「発達と教育の心理学」は、2025 年度以降入学生については福祉文化学科設置科目。

履修モデル：小学校一種免許

1
年次

【1年次】

「教職論」「教職入門セミナー」「初等教育原理」
教科に関する専門的事項の科目

※「教職入門セミナー」は「教職論」を履修済みの学生のみ履修可能

2
年次

【2年次】

「初等国語科教育法」「初等社会科教育法」
「算数科教育法」「体育科教育法」
「初等理科教育法」「初等家庭科教育法」

【2～3年次の間に履修】

必修：「教育制度論」「教育課程論」「教育方法論」
「ICT教育の理論と方法」「教育心理学」「発達心理学」
「生徒指導及び進路指導論」「道德教育の理論と方法」
「特別活動の理論と方法」「特別支援教育概論」
「総合的な学習の時間の指導法」
選択：「子どもと野外活動」「教職インターンシップ入門」
「教職インターンシップ実践」（入門を履修済みであること）

3
年次

【3年次】

必修：「生活科教育法」「初等音楽科教育法」
「図画工作科教育法」「初等英語科教育法」
「教育相談の理論と方法」

【1～3年次】

教科に関する
専門的事項
の11科目

「初等国語」
「書道Ⅰ」
「初等社会」
「算数」
「初等理科」
「生活」
「初等音楽Ⅰ」
「図画工作Ⅰ」
「初等家庭」
「初等体育Ⅰ」
「初等英語」

【1～3年次の間に履修】

文部科学省令で定める 科目（66条の6）

<日本国憲法>
「日本国憲法」

<体育>
※いずれかを必修
「健康運動演習 a」
「健康運動演習 b」
「健康運動演習 c」

<外国語コミュニケーション>
「Oral EnglishⅠ」

<数理、データ活用及び
人工知能に関する科目又は
情報機器の操作>
「情報リテラシーⅠ」

4
年次

【4年次】

「教育実習指導Ⅰ・Ⅱ」
「教育実習（小学校）」…20日間
「教職実践演習（小学校）」

※教育実習の履修要件については、P141の
<教育実習生の選考について>を参照。

免許法施行規則第66条の6に定める科目<人文学部共通>

免許法による科目区分	本学における開設授業科目					備考
	科目名	単位数	必修/選択 区分	履修年次	必要修得 単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2	必	1・2・3・4	2単位	
外国語コミュニケーション	Oral EnglishⅠ	2	必	1	2単位	
体 育	健康運動演習 a	2	選必	1・2・3・4	2単位	
	健康運動演習 b	2				
	健康運動演習 c	2				
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	情報リテラシーⅠ	2	必	1	2単位	
必要修得単位数					8単位以上	

※時間割については各所属学科設置科目を参照すること。

教科及び教科の指導法に関する科目・教育の基礎的理解に関する科目等

<小学校>こども文化学科用

免許法に定める教職に関する科目		本学開設授業科目				備考
		授業科目	単位数	必修/選択区分	履修年次	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	初等国語	2	必	1	
		書道Ⅰ	1	必	1	
		初等社会	2	必	2	
		算数	2	必	2	
		初等理科	2	必	2	
		生活	2	必	2	
		初等音楽Ⅰ	1	必	1	
		図画工作Ⅰ	1	必	1	
		初等家庭	2	必	2	
		初等体育Ⅰ	1	必	1	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	初等英語	2	必	2	
		初等国語科教育法	2	必	2	
		初等社会科教育法	2	必	2	
		算数科教育法	2	必	2	
		初等理科教育法	2	必	2	
		生活科教育法	2	必	3	
		初等音楽科教育法	2	必	3・4	
		図画工作科教育法	2	必	3	
		初等家庭科教育法	2	必	2	
		体育科教育法	2	必	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	初等教育原理	2	必	1	
	教職の意義及び教員の役割・教務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	必	1	
		教職入門セミナー	2	必	1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2	必	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学	2	選必	1	
		教育心理学	2		2・3・4	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解（1単位以上修得）	特別支援教育概論	2	必	2・3・4	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	必	2	
	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2	必	2	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3	
	特別活動の指導法	特別活動の理論と方法	2	必	3	
	教育の方法及び技術	教育方法論	2	必	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT教育の理論と方法	1	※必	2	前半・後半 2クラス
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導及び進路指導論	2	必	2	
教育実践に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2	必	3	
	教育実習（小学校）	教育実習（小学校）	4	必	4	別途 手数料等
	教育実習	教育実習指導Ⅰ	1	必	4	
		教育実習指導Ⅱ	1	必	4	
大学が独自に設定する科目	教職実践演習	教職実践演習（小学校）	2	必	4	
		教職介護等体験	—	必	3	別途 体験費等
		教職インターンシップ入門	2	選	2	別途 保険料
		教職インターンシップ実践	2	選	3	〃
		子どもと野外活動	2	選	2・3・4	

※ 2023 年度以降に教育方法論を履修する学生は必修。2022 年度までに教育方法論を履修済みの学生は履修の必要はない。